

高士訪友山水図

浦上春琴



制作年：1828(文政11)年

サイズ：136.5×29.2cm

材質：紙本墨画淡彩

所蔵：中津市木村記念美術館

画面右上：墨書「戊子臘月偶写于晚山楼上携以/雲華上人 許可乃款/ 春琴記選」
「記選」「伯拳」(白文方印)

画面左上：墨書「春寒臥我口画中山可娛無/題新句志研凍不容書/ 己丑第三日五十老人襄」
「頼襄」「頼子成」(白文方印)

画面左端：墨書「紀春琴山水頼山陽題詩 敝友大含藏」
「己丑春二月携此幅歴山陽道到西海道遂渡南海時々展觀慰/ 平生契潤之襄此時帰京割愛贈居村氏雲華題也五月二十一日」

画面右下：「□□」(白文方印)

1996(平成8)年に中津市に寄贈

浦上春琴(うらかみしゅんきん、安永8(1779)~弘化3(1846))は、江戸時代後期の画家です。別姓紀、名は選、字は伯拳、睡庵と号しました。父の浦上玉堂(延享2(1745)~文政3(1820))に画を学び、寛永6(1794)年父の脱藩に従い各地を遊歴のち京都に来住し、頼山陽らと親交を持ちました。山水画、花鳥画を得意としたとされています。この絵は、文政11(1828)年12月山楼で春琴が揮毫したものを雲華が譲り受け、さらに翌年の春に頼山陽がこの絵に賛を書き込んでいます。雲華はこの絵を携えて2月から山陽道、西海道を旅し、帰郷したのち惜しみながらも「居村氏」に贈った事が識語(絵についての記録を書き込んだもの)からわかります。